

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970500231
法人名	合資会社 友輪
事業所名	グループホーム 友輪
訪問調査日	平成21年6月10日
評価確定日	平成21年7月29日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970500231		
法人名	合資会社 友輪		
事業所名	グループホーム 友輪		
所在地 (電話番号)	土佐市蓮池3625番1		(電話) 088-854-1591
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年6月10日	評価確定日	平成21年7月29日

【情報提供票より】(平成21年5月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 21 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11人	常勤 3 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 4.5人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="radio"/> 単独	新築 <input checked="" type="radio"/> 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,000~30,000円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	有 (円)	<input checked="" type="radio"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	<input checked="" type="radio"/> 無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	含む 円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(5月28日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 90.56 歳	最低	80 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	伊与木クリニック 日高歯科
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、周囲を緑にかこまれ里山風景の中に溶け込んでいる。管理者の「ゆったりとした居心地の良い居場所を提供したい」との高齢者に対する思い入れは、安心してくつろぎ、ゆったりとした時間を過ごす利用者の表情、態度からも窺うことができる。看護職の資格を有する職員が多く、健康管理や看取り対応など、家族からの信頼も厚い。また、利用者と一緒に食事を専門に作る調理経験のある職員を採用したことで、他の職員が利用者のケアに携わる時間が確保され、チームワークが良いことも相まって、管理者が目指す「居心地の良い居場所づくり」の実現に近づきつつある。今後もゆったりした時の流れの中で、地域に密着したグループホームとしての発展が期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で見出された課題について改善シートを作成しているが、実施には至っていない。改善目標を立て、計画に沿って改善に取り組むとともに、その内容や実施月、評価日など、改善のプロセスが確認できる改善シートを整備することを期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は評価の意義は十分理解している。職員がそれぞれ自己評価シートに記入し、その後、職員全員で話し合い、管理者が取りまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業者側からホームの近況報告、参加メンバーからはそれぞれの立場から意見等が出され、双方向的な会議となっている。なお、行政の立場からの参加など、幅広い分野のメンバー構成について検討されることを期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族からの意見や苦情は特に出されていない。月1回の「友輪便り」で暮らしぶりやエピソードなどを伝え、ホーム内イベント時の写真も同封している。家族が訪問しやすい雰囲気、話しやすい関係はできており、家族とのきめ細かいやりとりや交流の深まりが、利用者との関係、サービスの質の向上に不可欠との認識のもと対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区会に加入し、管理者が会計担当や地区の行事に携わり、利用者も地区会費の集金などに同行している。地域の小学校の運動会の見学、地区の一斉清掃への参加のほか、事業所が自主的に草刈りをするなど、近隣の方との接点を持ち交流を深めている。また、ホームの催しに近所の方を招待したり、散歩の時に声かけをして、日頃から地域の方達との交流の深まりを大切にしており、利用者の見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 管理者を中心に職員が十分に話し合い、地域との関わりを盛り込んだ事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 理念について、ホーム内の目に触れやすい場所に掲示するとともに、月1回のカンファレンスの場で理念の確認を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員は日々の業務の中で「居心地の良い場所を提供する」ことを心がけ、絶えず理念の原点を振り返りながらサービスの提供に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会などに加入している。 地区会に加入し、管理者が会計担当や地区の行事に携わり、利用者も地区会費の集金などに同行するなど、地域住民の一員として活動している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地元の小学校の運動会の見学、地区の一斉清掃への参加のほか、事業所が自主的に草刈りをするなど、近隣の方との接点を持ち交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員全員が記入した自己評価シートをもとに全体会で話し合い、管理者が取りまとめている。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価で見出された課題について、改善シートは作成しているが実施までには至っていない。	○	評価で見出された課題については、具体的な改善計画を立て、その実施に取り組むことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業者側からホームの近況報告、参加メンバーからはそれぞれの立場から意見等が出され、双方向的な会議となっている。なお、行政の立場からの参加など、幅広い分野のメンバー構成について検討されることを期待したい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>前回の評価結果等については、運営推進会議で報告をしている。なお、運営推進会議が改善に向けた取り組みのモニター機能を発揮することを期待したい。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>市町村担当窓口には、日頃からケアの取り組みなど折りに触れて伝えるなど、交流を深める努力をしている。また、市が主催する勉強会にも積極的に参加している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族が訪問しやすい、話しやすい雰囲気づくりを心掛け、利用者の健康状態や生活状況について話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月1回、イベント時の写真や「友輪便り」を家族に送付し、利用者の暮らしぶりや行事等の近況を報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>心身の状況、変化については特に留意し、近隣の家族にはその都度来訪してもらったり、遠方の家族方には電話で連絡するなど、家族との連絡を密にしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>家族の来訪時に金銭出納帳に確認のサインをもらっている。遠方の家族には金銭出納帳のコピーを送付している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会はないが、年に数回、行事の案内をしている。毎回、3～4人の家族の来訪があり、参加の家族が話しやすい雰囲気づくりや場面づくりを心掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 玄関に意見箱を設置しているが、特に、意見等は出されていない。家族には、些細なことでも意見を出してもらおう働きかけている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 開所当時から馴染みの職員が継続的に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 退職の職員が少なく利用者へのダメージはない。新人職員には、先輩職員がマンツーマンで指導している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 全職員がケアの向上を目指して研修、会議に参加できるように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 月1回のカンファレンスの機会を捉えて、受講者から研修報告をする仕組みがあり、職員全員で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内の連絡協議会に加入し情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 地域内、近隣グループホームと交流し、双方の行事に参加することで関係を深め情報を得ている。管理者の勉強会にも参加し、質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>希望者には自由に見学してもらい、ホームの雰囲気や利用者の生活感を感じてもらっている。</p> <p><input type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者が面接を行い、結果を職員に報告している。</p>	○	利用者が安心して事業所で生活を送ることが大切であり、面接では、本人の状況などを多面的、多角的に把握するためにも、複数の職員で行うことが求められる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>料理の手伝い、盛り付け、配膳、洗濯物たたみ等、その時々で手をさしのべながら、共に過ごし支え合う関係を築いている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者の喜怒哀楽の思いを共感、理解し、一緒に過ごす中で、時には利用者から人生の先輩として学ぶことなど共に暮らす者同士として、支え合う関係づくりに留意している。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の関わりの中で積極的に声をかけ、表情などから、希望、意向の把握に努めている。利用者の中には、「一時的にお世話になっている」との思いの方もおり、その気持ちを大切に関わっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>意思疎通が困難な方には、家族の意見・要望などを聞きながら、「本人の思いはどうか」といった視点で取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>利用者、家族の意見・要望をもとに、職員の気づきを加え、その人らしさを失わない介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>利用者のケアのあり方について、月1回のカンファレンスや3カ月に1回のモニタリングの機会を捉えて職員全員で意見交換をしている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>6カ月に1回の見直しを基本としている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>利用者の状況に変化が生じた時や新しい入居者の暫定プランなど、個別に状況を判断して柔軟に取り組んでいる。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。</p> <p>協力医療機関の医師の協力や看護師の配置など、医療連携体制が確立しており、利用者は安心して医療処置を受けながら事業所で継続した生活を送っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>利用者、家族の希望に沿って、かかりつけ医に受診できるように支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果について、かかりつけ医、家族と事業所、職員間での共有はできています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針を定めており、利用者、家族、かかりつけ医等を含めた話し合いはできている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられように取り組んでいる。</p> <p>大半の家族はホームでの最期を望まれている。病状などにもよるが、可能な限り、安心して最期が迎えられように取り組む体制ができており、過去にホームで看取りを行った例もある。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>やさしい言葉かけ、さりげない誘導などに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>プライバシーの確保について、日常的に意識して対応することを徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>一人ひとりのその日の体調に合わせて、興味のあることを見出したり、関心を向けていることを把握するなど、個別に応じて柔軟に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>基本的にはホームのスケジュールはあるが、あくまでも利用者中心に個々の利用者への配慮と個別性を尊重し、その人のペースに応じた支援を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切にしている。 献立づくりは、旬の食材やスーパーのチラシを見て利用者と話し合っている。調理の下ごしらえ、盛り付け、配膳は、利用者の能力に応じて自然な形で進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は、さりげなく食事の介助をしながら、利用者と一緒と同じ物を食べ、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 利用者の希望に合わせて、いつでも入浴でき、毎日入浴する方もいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 入浴を拒む利用者に対しては、無理強いをせず、時間帯をずらしたり、言葉かけなどに工夫し、2日に一度は入浴支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食事の盛り付け、テーブル拭き、配膳、居間にいる利用者に食事時間の呼びかけなど、利用者の役割は自然とできあがっており、全てが日常生活に溶け込んでいる。また、洗濯物の整理も声かけしなくても当たり前の作業として進められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 職員は、利用者の特徴や得意分野について十分把握しており、利用者話し合いながら支援をしている。月2回の音楽療養は全員が楽しんでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近隣に商店はなく、量販店での調理材料の買い物などに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 ホーム周辺は車の通行量が少なく、車椅子の方も安心して戸外に出ることができている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 利用者の体調を考慮しながら日常的に散歩を行っている。また、季節折々の花の観賞、外食などドライブに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 日中は玄関に鍵を掛けず、自由な暮らしを支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 職員は、利用者の外出の習慣や傾向を把握しており、行動制限はせず見守りで対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 ホームの催しに近所の方を招待したり、散歩の時に声かけをして、日頃から地域の方達との交流の深まりを大切にしており、利用者の見守り、声かけや連絡をもらえ関係を築いている。		
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 年2回の防災訓練時には、近所の住民の参加、協力が得られている。緊急時に備えて2軒の民家の協力を得て緊急連絡システムを設置している。夜間想定訓練も検討している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消火器の定期点検や避難経路の確保はできている。また、非常用食料もホーム内に備蓄している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 殆どの利用者は、毎食全量摂取している。水分の摂取量に変化がある場合は業務日誌へ転記し経過を観察している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の食事の嗜好を把握し、旬の物を採り入れたり、高齢者にとって食べやすく美味しい献立に配慮している。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 調理経験のある職員が従事し、高齢者に合った美味しい食事内容になっているが、専門的な観点からのチェックはされていない。	○	利用者の食事について、地域の栄養士や保健師などに依頼して、栄養面を専門的な観点から定期的にチェックをしてもらうことを期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 共用の空間は明るく、清潔で、ゆったりとして居心地が良く、安心して過ごせる場所となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 利用者と職員が一緒に作った紫陽花の切り絵が壁面に掛けられている。シンプルな飾り付けであるが温かい雰囲気となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 玄関に置かれたメダカの水槽、食堂や居間に紫陽花などが活けられ、季節の味わい、くつろぎ、安らぎのある暮らしができるように配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 居室は、家具、衣装ケース、小物など馴染みの物を置き、配置にも配慮している。利用者の中には、馴染みの物を置くことで不穏になる場合もあり、個別に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。		